

【四月の言葉（令和五年）】

仏法を聞くとは、

安心して生き、安心して

いのちを終えていくことです。

皆さんは「生死しょうじの解決」は済んでいますか。生死の解決とは、死の不安からの解放であり、死を超え安心して生き、安心していのちを終えることです。

人はなぜ死ぬのか？・・・それは生まれたからです。いつ死が訪れるかわかりませんが、いつか必ず来ます。その時慌てたり、悔やんだり、落ち込んだりして、虚むなしく、寂しく死んでいくのではなく、今、「生死の解決」を済ませましょう。

仏法を聞きましょう。もうすでに解決の道は届いています。阿弥陀仏が、生と死の壁を破って、浄土へ生まれる道を示してくださっています。阿弥陀仏におまかせしましょう。

安心していのち終えていける世界があることを知ると、いつ娑婆あきいの縁が尽きようとも心配はありません。死んだらお終いと諦めるのではなく、明るく生まれていく世界があるのです。

先に往く人、あとから往く人、みなともに浄土への道を歩む仲間です。そして、また浄土で会えるのです。